

ICT 東京フォーラム2020 開催のお知らせ

災害×コロナを、ICT(情報通信技術)によってどう乗り越えるか？

NPO 法人調布市民放送局は、地域でのメディア活動をまちづくりに生かそうと、総務省関東総合通信局のご協力を得て、毎回事務局を担ってフォーラムを開催しております。昨年は、地域の方に情報を伝える活動をしている団体にお集まりいただき、「災害時を考慮したコミュニティメディアの新たな展開」を開催しました。

ここ数年間のテーマは、災害。近年増加する台風・集中豪雨・地震などの自然災害、さらに今年は、新型コロナウイルス感染によるパンデミックが起これ、今なお世界中を震撼させています。

思い起こせば、調布市だけでもこの10年間、2011年3月には、東日本大震災の影響で計画停電がありました。2014年6月24日には、突然の雹(ヒョウ)の被害。2015年7月26日には、調布飛行場を離陸した飛行機が住宅地に墜落するという事故がありました。2019年10月12日には、台風19号による浸水被害がありました。そして、つい先日の10月23日、市道が陥没するという事故が起きました。寺田寅彦氏が言われたという「天災は忘れた頃にやってくる」のではなく、いつ何が起こってもおかしくない状況です。

災害に備える事は勿論の事、起こった時に如何に行動するか、今年のフォーラムでは、ICT(情報通信技術)を利活用して行政、地域、企業が連携してどう取り組んだら良いか解決の道を探ります。

調布市と災害協定を結んでいる方々にご登壇いただき、オンライン(Zoom 使用)で開催いたします。

是非ご参加いただき、避難行動に役立てていただければ幸いです。

<ICT 東京フォーラム2020紹介動画> <http://chofu-catch.or.jp/videos/icttokyo2020>

【フォーラム日時】 2020年11月15日(日) 14:00~17:00 オンライン開催(Zoom 使用)

【プログラム】 【開会挨拶】 ICT東京フォーラム実行委員会 委員長 奥野 剛史(電気通信大学)

【来賓挨拶】 椿 泰文氏(総務省 関東総合通信局 局長), 長友 貴樹氏(調布市 市長)

第一部:基調講演 『災害時 ICT 利活用×コロナ』

災害時の ICT 利活用最前線 柴田 哲史氏(サイボウズ(株))

災害時緊急医療救護所について 青木 誠氏(青木病院 医師)

第二部:講演 『調布市×災害時協定』

ヤフーの災害への取組について 久保田 紀之氏(ヤフー(株))

災害におけるドローンの活用 古橋 大地氏(青山学院大学教授)

サイボウズ災害支援協定 岩下 朗子氏・柴田 哲史氏(サイボウズ(株))

パネル討論 『調布市×地域連携 ~災害前後にわたる地域連携を考える~』

コーディネータ:柴田紀恵子(調布市民放送局)

パネラー:柴田哲史氏, 青木誠氏, 久保田紀之氏, 古橋大地氏, 岩下朗子氏, 長友貴樹氏

【閉会挨拶】 関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会 代表幹事 三木 哲也

【参加申込先】 <https://icttokyo2020.page.link/attend> 又は、右の QR コードより

【問い合わせ先】 調布市民放送局 電話:070-5576-1429



【参加申込先】

主催:ICT 東京フォーラム実行委員会 共催:総務省関東総合通信局, 関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会, 調布市, 国立大学法人 電気通信大学
後援:情報通信月間推進協議会, 社会福祉法人 調布市社会福祉協議会, 公益社団法人 調布市医師会, 調布市教育委員会, 調布消防署, 調布警察署,
調布市商工会, 公益社団法人 調布青年会議所, 株式会社ジェイコム東京調布局, 調布 FM 83.8MHz, ヤフー株式会社
協力:NPO 法人調布市民放送局, 調布市地域情報化コンソーシアム, サイボウズ株式会社

【FC 東京応援記】

味スタの10月後半2戦はビジター席も設置され、上限16,000人に緩和された。来場時には入口で全員が検温され、手指消毒液も設置。全席指定、ソーシャルディスタンスの席割と席種ごとの入場ゲート指定。マスク着用100%義務化、声を出しての応援禁止等々、ありとあらゆる感染対策が施されている。実際、何度も足を運んでいるが、安心して観戦できる。しかも試合中のピッチからは選手同士の声がよく聞こえ(特に、波多野)、これまでにないオマケもある。青赤で埋めつくす、今までの形は無いが、ここに新しい観戦スタイルがある。(日比生)



10月27日から11月9日まで読書週間です。1947年から始まり今年第74回。標語は「ラストページまで駆け抜けて」です。図書館にとっては毎日が読書の日ですが、皆さんもこの機会に本を読むことについて考えてみませんか。標語にあるように一気に読み切りたくなる本があります。いろいろなことを忘れて、物語の世界につかることもよいかもしれません。読む本に悩んだら図書館を思い出してください。

2020年11月 番組表



<調布市民放送局の番組を見ることができます>

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送 放送時間変更のお知らせ 11月14日(土)~18日(水) 17:55⇒21:25

月	火	水	木	金	土	日
8:55 17:55						

テレビ番組	1日	① 公益社団法人 調布青年会議所創立50周年記念式典 10月15日、イオンシネマ シアタス調布でコロナ対策を考慮しつつ、創立50周年記念式典が執り行われました。調布青年会議所50年の歩みが映像で紹介され式典は盛り上がりました。	
	15日	② 「ICT 東京フォーラム2020」開催のお知らせ コロナ禍の真只中、自然災害に直面した時、ICTを活用して、非常事態を回避できるか模索します。今回初めてオンラインで行うフォーラムにご参加ください。 ③ リトルギャラリー 今回は村井玲子さんのご祝儀袋の紐として知られている「水引」の作品展「水引アートの世界」です。繊細で色鮮やかな作品をお楽しみください。	
	16日	① 感動のシーンをふたたび ~ラグビーワールドカップ総集編~ 昨年ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催され、駅前広場には、パブリックビューイング会場がオープン。調布の町は世界中から集まったラグビーファンで、連日熱気に包まれました。今回は前回に引き続き、今年の熱狂と興奮の渦の中へもう一度ご案内します。	
	30日		

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分~22時00分) 調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！

月	放送日	内容ご紹介	
ラジオ	2日(前編)	ゲスト:国立大学法人電気通信大学新学長 田野俊一氏 新型コロナウイルス感染拡大の真只中の4月、新学長に就任されました。コロナ禍の大学の対策、デジタル化への変革が望まれている現在、益々期待が高まっている電気通信大学について、色々お伺いしました。 インタビュアー:柴田紀恵子	
	11月		9日(前編再放送)
	16日(後編)		
	23日(後編再放送)		
	30日(前編再放送)		

HP 新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てくださいませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

🔍 調布市民放送局で検索
<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年~現在まで)
<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月~2015年3月)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局)(2015年~)

還付金はATMで絶対に受け取れません

管内での特殊詐欺被害が増加。本年上半年に発生した認知件数は28件で被害総額は約3800万円にのぼる。ATMに誘導する手口が目立つ。「ATMでは絶対に還付金は受け取れません。市役所などから年金・累積医療費の払い戻しの電話があったら迷わず110番」と調布警察署(電話042-488-0110)

秋の火災予防運動が9日から。鳴りますか？住宅用火災警報器

東京消防庁の秋の火災予防運動が9日から始まる(15日まで)。今年の標語は「もう一度 確認 安心 火の用心」で「鳴りますか？住宅用火災警報器」と呼び掛けている。住宅の火災警報器の点検と本体交換の2つを強調。「交換は設置してから10年を目安にと」と調布消防署(電話042-486-0119)。

<ご意見・ご感想をお待ちしています> ●メール catch@chofu-catch.sakura.ne.jp ●☎070-5576-1429
 ●郵便〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター 気付
 [編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14